

平成19年度実施協働事業の事業結果及び評価結果一覧（要約）

1. 実施事業等	緑地（里地里山）保全活動事業（特非）藤沢グリーンスタッフの会 市提案／公園みどり課 2,300,000円（藤沢市分 2,300,000円）	地域ポータルサイト運営事業（特非）湘南ふじさわシニアネット 市提案／IT推進課 1,995,000円（藤沢市分 1,995,000円）	防犯対策システム運営事業（特非）地域魅力 市提案／市民自治推進課 1,500,000円（藤沢市分 1,500,000円）	ISO無料講習会実施事業（特非）湘南ふじさわシニアネット 市民活動団体提案／産業振興課 1,909,089円（藤沢市分 1,909,089円）	傾聴ボランティア育成・派遣事業（特非）シニアライフセラー研究所藤沢事務局 市民活動団体提案／高齢福祉課 1,230,185円（藤沢市分 505,000円）
2. 事業概要	1. 緑地保全事業 市有緑地10ヶ所、14,600㎡ 2. 藤沢里山保全ボランティアリーダー養成講座 3. 指定緑地又は指定地域以外での支援活動 4. 指定緑地での各種自主活動	1. 現行サイトの維持・更新 2. 現行サイトのCMS化の推進 3. 新ポータルサイトの企画（2009年度公開予定） 4. 将来の自主運営に向けてのビジネスモデル検討	1. 地域の安全安心のための共助の仕組みづくりへ発展させる。 2. 日常業務：防犯情報の配信・管理、HELPメールの確認等 3. 安心安全の確保についての検討 4. 市民電子会議室、ポータルサイト、電縁マップの活用、充実化を図る。	1. ISO国際規格等の目的とその具体的な内容を、分かり易く解説し、今後の企業経営の参考に供する。 2. 企業価値の向上及び顧客からの信頼性向上を図る。 3. 無料講習会：前期5講座、後期5講座の計10回実施。	1. 認知症予防、うつ病予防、課題の早期発見・早期対応等が期待できる。 2. 傾聴ボランティアを行う人の介護予防 3. 人と人との交流を媒体とした、地域福祉の向上と、地域課題の解決が、この事業の最大の目的である。
3. 事業を行っての成果・効果	1. 緑地の現状と保全の必要性について認識したこと。 2. 保全活動の影響についての貴重な経験が得られたこと。 3. この事業により整備された緑地として市民に認識されたこと。 4. 周辺の住民に明るくなったとの好評も得られた緑地もあること。 5. ボランティア活動の原点である社会貢献につながる事業になっているとの認識を持てたこと。	1. 「えのしま・ふじさわポータルサイト運営に関する指針」を市と共同で作成。 2. 編集会議を毎週開催し、コンテンツの充実と更新頻度の向上を図った。 3. トップページのマイナー変更を実施（11月22日公開） 4. サイトアクセスの大幅な向上。 ①延べ訪問者数 +54% ②訪問者数 +88% ③総ページビュー +49%	1. 犯罪抑制：犯罪件数の減少。 2. システム登録者の増加(2008/2/12現在) 全体登録者数 5,400人 かけつけ協力員数 325人 一般投稿登録者 82人 FAX受信登録者 29人 SOS設定者 106人 3. 市やNPOで行う広報活動に加え、クチコミ等でのシステムの価値への評価が反映されている。 クチコミ登録 22%	1. ISO等の各種マネジメントシステムに関する情報の啓発 2. 「エコアクション21」及び「プライベートマーク」の認証取得活動を開始した企業が1社づつあった。 3. テキストの評価が高く、不参加者からの送付要請や、本テキストを使用して自社内の社員教育を実施。 4. 本講習終了後に、20年度開催に関する問い合わせがあり、本企画への期待の強さが伺える。	1. 傾聴ボランティアの養成(67名) 2. 継続的なボランティア活動(36名) 3. 傾聴の重要性を啓発 4. 受講生1人1人の成長を促す実践的な教育ができた。 5. 優秀なボランティアの育成 6. 傾聴連絡会の自然発生活動(65名が参加)
4. 事業を実施しての反省点(課題)と対応策	1. 作業回数・内容についての見直し 2. 将来構想を十分に理解した上で行う作業であり、更に勉強が必要。 3. 保全活動は、継続して行なう必要があり、頻度を多くすることも課題。 4. 保全目標を作ることが重要で、手法を確立したい。 5. 事務所、道具運搬車・駐車場確保、運転資金難などの課題がある。	1. アクセスアップのための対策を強力に推進することが必要 2. 新ポータルサイトの企画を実現するための運営体制の強化・充実 3. 広告収入等自主財源の獲得による運営経費の確保	1. 機器の不具合などのトラブル対策 2. かけつけ協力員及び防犯ボランティアのネットワーク化や研修を目的としたイベントの実施。一般情報投稿のマニュアルの整備の実施。	1. 受講者の確保 2. 受講者の内容 マネジメントシステム導入希望企業の受講が少ない。 ⇒マネジメントシステムの導入が、現実企業経営の役に立つことを、根気良くPRして行かざるを得ないと考える。	1. 募集について 200人を超える想定外への対応 ①応募用紙の配置 ②電話回線の問題 ③広報ふじさわ掲載事項の反省 【今後の対応策】 ⇒応募用紙の事前設置の徹底 ⇒電話回線及び電話番号の配置 ⇒募集の締め切りを明記
5. 今後の取組（協働事業を実施して、今後の事業展開や団体活動への取り組みについて。）	1. 年1回の作業にこだわらず、行政と良く話し合いながら、少しでも手入れの行き届いた緑地にしたい。 2. 市民ボランティア受入れ・市民の保全活動への参加などを検討・試行し、活動の幅を広げていきたい。 3. 里山ボランティアリーダーの継続性の保持及び質の向上を図るため、資格の導入も検討していきたい。	1. 新ポータルサイトの開発・運営体制の整備(2009年度公開予定) 2. 自主運営に向けての取組強化	1. 子育て情報プラットフォーム運営事業など、関連する別テーマとの連携を視野に入れ、NPOならではの横軸連携を展開していきたい。 2. これらの情報配信、情報共有の取り組みを、「地域情報のハブ」という、当NPOの地域における役割としてとらえ、これに見合った新たな事業展開を検討していきたい。	1. 今回の経験をベースに、今後もマネジメントシステムの普及を目指して同様の活動を継続し、NPOとしてのコンサルティング事業に弾みをつけたい。 2. チャンスがあれば、同様の協働事業による無料講習等を実施して普及を図って行きたい。	1. 次年度も継続事業とし、2年目として中級講座を追加し、在宅派遣できる人材育成を行う。 2. 自然発生的にできた「傾聴連絡会」をバックアップし、情報を共有しながら、勉強・活動していく。 3. 受講生とともに傾聴の分野を研究しながら、より良い活動ができるためのスキルアップを行っていく。
6. 評価結果	①月1回の定例会や隔月の活動報告により相互の役割分担・情報共有を適切に行い、互いの特性を發揮しながら事業を進めている。 ②近隣住民等からの要望に対して、適切に対応し、里山保全ボランティアリーダーの養成も着実に進んでいる。 ③これだけの事業をこの経費で実施できたことに示されるように、協働事業をとおして、多くの市民に市有緑地等を共通の財産として維持管理していく考え方を理解してもらえるようになった。 ④予想以上の成果があった。今後、様々な課題について更に協議・整理を行い、継続して事業を展開して欲しい。	①綿密な打合せを行い、お互いの思いや意見を生かし、「えのしま・ふじさわポータルサイト運営に関する指針」を共同して作成できた。 ②運営上の目的・役割分担を明確にし、情報共有を行い、人材や技術を活かした協働事業の実施により地域ポータルサイトの自主運営を目指して取り組んでいることは評価できる。 ③コンテンツの充実と更新頻度が向上し、結果としてアクセス数の向上をもたらした。 ④今後は、自主運営に向けて運営資金の確保が課題であるが、広告掲載だけでなくコンテンツそのものが運営費となるような体制が理想と思われる。	①犯罪は、時間や曜日等にとらわれず、いつ起こるか予測がつかないが、起きた犯罪情報についてはリアルタイムに配信し、2次的な犯罪や再び犯罪を起こさせない対策が必要である。 ②防犯対策システムを協働事業として実施し、団体の柔軟性や迅速性を生かして、24時間365日、犯罪情報をリアルタイムに配信することができるようになった。 ③自主防犯意識の高揚や犯罪の未然防止に向けた啓発が図られたことは評価できる。 ④実際に問題が発生したとき、発信者自身の安全確保や協力員の安全確保などの課題があるので、引き続き協働事業としてよりよいシステムにしていければよい。	①講習会の受講者からの評価は全般的に高く、実際にエコアクション21の認証取得に着手した市内企業も現れるなど、本事業をとおしてISO国際規格等に対する中小企業の関心向上を図ることができたものと評価する。 ②講習会の参加者が当初計画より下回るなど、主催者の思いと受講者側の思いとで多少のずれがあったものと思われるので、この課題を今後に生かす必要がある。	①当初から3年計画の協働事業として考えており、まず傾聴ボランティアの初期コースとして、当初目標の50名より多い76名の受講者でスタートし、最終的に67名が終了することができた。また、修了生の内、傾聴連絡会として65名が自発的に結成参加し、36名の修了生が福祉施設でボランティア活動を継続している実質的なボランティアとしての養成が出来たことは高く評価できる。 ②次年度以降も引き続き協働事業として期待するものです。